

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

2022.10.25 ver

日本語論文タイトル^{1, 2}
——日本語副題——

英語論文タイトル: 英語副題

Abstract

英文アブストラクト (100—175 語)

Keywords:

A, B, C, D, E.

コメントの追加 [JPA1]: 投稿時には、こちらは削除してください。

コメントの追加 [JPA2]: アブストラクト内では、見出しを使用しての構造化は行わない。また、改行せず、続けて記載する。

コメントの追加 [JPA3]: 最大 5 語まで記載できる。

1 **Abstract の日本語訳**

2 英文アブストラクトを日本語訳したものも入力する。
3 ただし、直訳ではなく、日本語の文章として適切な表現
4 にすること。

5

6

7 **Keywords の日本語訳**

8 A, B, C, D, E.

9

コメントの追加 [JPA4]: 英文キーワードの日本語訳。これも英文アブストラクトの日本語訳同様、直訳ではなく、日本語として適切なものを使用する。

1 本文は改ページをして始める。また、本文冒頭の見出しは不要であるため、削除すること(原田・河原他, 2019; 原田・中村他, 2019; Kawahara et al., 2016; 中村, 2022)。

5 中央大見出し

7 横大見出し

8 横小見出し 1. 前後の行にアキは不要。1字下げをする。

10 2. 段落に序列をつける場合の例である。次に文章内、段落内で序列をつける場合の例を挙げる。(a) このように、(a), (b), (c) を使用する。(b) その後は改行せず、後ろに文章を続ける。

14 横小見出し 横小見出しに前後の1行アキは不要である。

16 横小見出し 本研究は、著者の所属機関に設置されている倫理委員会の承認を得た。

19 横大見出し

20 同じレベルの見出しを続けて使用することはできない。³

22 ○○
 23 ○○
 24 ○○
 25 ○○
 26 ○○

27 (Figure 1)

28 ○○
 29 ○○
 30 ○○
 31 ○○
 32 ○○

コメントの追加 [JPA5]: 著者が3名以上いる場合、初出時より、他、et al と省略表記とします。

コメントの追加 [JPA6]: 中央大見出しの前後は1行アキとする。見出しに副題は付きません。

コメントの追加 [JPA7]: 横大見出しの前は1行アキとする。ただし、中央大見出しと横大見出しが連続する場合は、2行アキではなく、1行アキとする。

コメントの追加 [JPA8]: 段落に序列をつける場合は、1. を使用するが、後ろには文章を続ける。:(コロン) やスペースを使用し、見出しのようにはしない。

コメントの追加 [JPA9]: 倫理委員会の承認など、倫理審査に関する記述は、投稿時には具体的な所属機関は伏せる。マーキングの塗りつぶしは行わない。

コメントの追加 [JPA10]: 本文右欄外に挿入指示をする。その際、本文と重なったり、挿入指示が途切れたりしないよう注意する。

Figure 1

Table 1

引用文献

日本心理学会 (2022). 執筆・投稿の手びき 2022 年改訂版 Retrieved October 25, 2022, from <https://psych.or.jp/manual/>

例をいくつかあげます。

※掲載順はアルファベット順となりますが、文献の種類、言語ごとに例を示しております。

<雑誌>

(英)

Takahashi, N., Isaka, Y., Yamamoto, T., & Nakamura, T. (2017). Vocabulary and Grammar Differences Between Deaf and Hearing Students. *Journal of Deaf Studies and Deaf Education*, 22(1), 88–104. <https://doi.org/10.1093/deafed/enw055>

(日)

川上 直秋 (2019). 指先が変わる単語の意味——スマートフォン使用と単語の感情価の関係—— 心理学研究, 91, 23–33. <https://doi.org/10.4992/jjpsy.91.18060>

<書籍>

(英)

Rosen, L. D., Cheever, N., & Carrier, L. M. (2015). *The Wiley Blackwell Handbook of Psychology, Technology and Society*. Wiley. <https://doi.org/10.1002/9781118771952>

(日)

一川 誠 (2016). 「時間の使い方」を科学する——思考は 10 時から 14 時、記憶は 16 時から—— PHP 研究

コメントの追加 [S. ldo12]: 改ページをして始める。

コメントの追加 [S. ldo13]: 最新の「執筆・投稿の手びき」を参照時し、引用文献リストを作成する。

1 所

2

3

4 <書籍の特定章>

5 (英)

6 Morioka, M. (2018). On the constitution of self-experience
7 in the psychotherapeutic dialogue. In A. Konopka, H. J.
8 M. Hermans, & M. M. Gonçalves (Eds.), *Handbook of*
9 *Dialogical Self Theory and Psychotherapy: Bridging*
10 *Psychotherapeutic and Cultural Traditions* (pp.206–
11 219). Routledge.

12

13 (日)

14 内藤 美加 (2018). 記憶の発達と心的時間移動——自閉
15 スペクトラム症の未解決課題再考—— 鈴木 國
16 文・内海 健・清水 光恵 (編) 発達障害の精神病理 I
17 (pp.73–96) 星和書店

18

19

1
2
3
4
5
6
7
8
9

脚注

1. (著者情報を含むため削除)
2. (著者情報を含むため削除)
3. 著者情報を含まない脚注をここに記載する。著者情報を含む脚注は、システム上に入力する。改稿時に追加や修正があった場合、システム上も修正すること。

コメントの追加 [S. ldo14]: 改ページをして始める。

著者情報を含む脚注は、例のように記載するか、記載しないこと。

1 **Table 1**

2 表のタイトルは左詰め

	<i>M</i>	(<i>SD</i>)	部分的な注 ^a	<i>p</i>
1.				
2.				
3.				
4.				

3 注) 全体的な注はこちらに記載する。

4 a 部分的な注は，全体的な注の下に改行をして記載す
5 る。

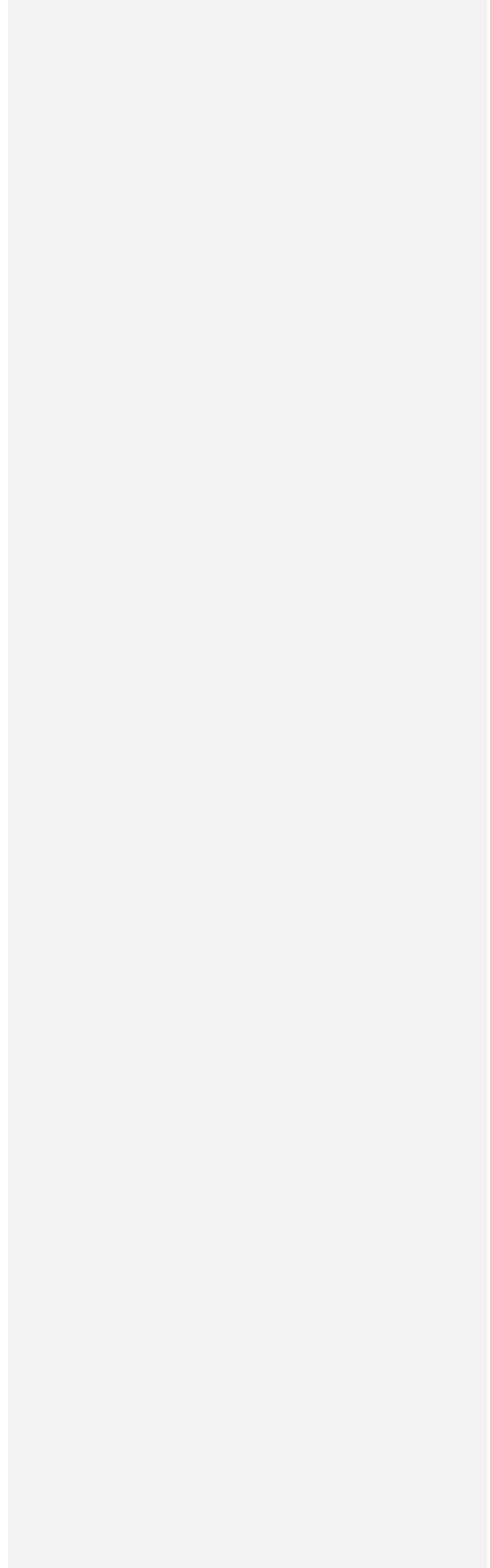
6 **p* < .05, ***p* < .01, ****p* < .001

7

コメントの追加 [S. ldo15]: Table, Figure は 1
ページに 1 つずつ配置すること。

1 Table 2

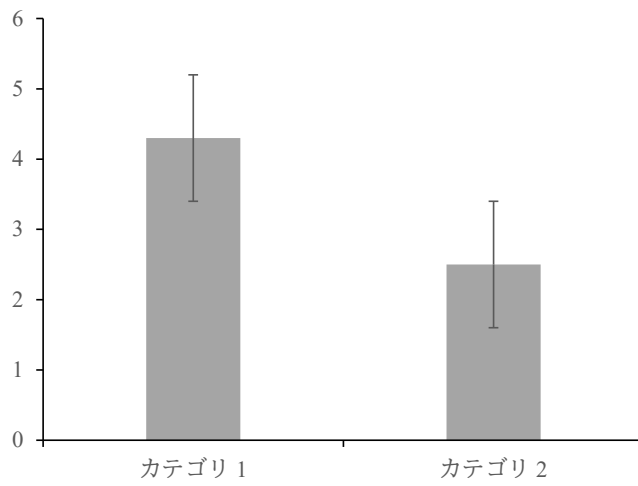
2



1 Figure 1

2 図のタイトルは左詰め

コメントの追加 [JPA16]: 図の下部ではなく図の上部にタイトルを記載する。



3

4 注) あくまで例です。全体的な注は表の下部に記載しま
5 す。

6

1 Figure 2

2

